

# 変わるって、いいことなんだ。

伊藤 也は今回、病院改革を進める野尻中央病院（宮崎県小林市）を訪問。三好彰範統括部長、岡元和美看護部長に新たな取り組みや「おうちに帰ろうプロジェクト」などについて、話を伺いました。



vol.30  
野尻中央病院

100歳を迎える患者さんと看護師、介護士で、記念写真。

余命あとわずかの患者の望み「パチンコをしたい」を叶える

伊藤 今日（1日）、おうち帰ろうプロジェクト（以下、おうちP）に同行しました。人工呼吸器を付けた患者さんの100歳の誕生日を、ご家族と自宅で祝われるという、とても素晴らしい経験をさせていただきました。

三好 患者さんご家族も、この日をとっても心待ちにしていたから、病院としても、この日を迎えられて本当によかったと思っています。

伊藤 誕生日のケーキに乗っていたイチゴを丸のまま頬張られたり、席に咲いたすいせんの花をいとおしそうに眺めていたり……。おそらくあれが患者さんの日常だったのでしょうか。

岡元 イチゴの件は、先ほど付き添いの看護師から聞いて、驚きました。病院ではミキサー食ですので。

伊藤 一時的にしても、自宅に戻ることと患者さんのQOLが上がる。まさにこの「おうちP」がもたらした成果なのでしょう。ところで、このプロジェクトのきっかけをつくったのは、統括部長の三好さんだと聞いています。

三好 まだ私が通所室の主任看護師だった頃の話です。透析患者さんのな

自宅に戻った患者さんと、迎えたご家族の、あふれる笑顔。「家に帰る」ということの意義を強く感じた1日だった。



この日を持ち望んでいたご家族の方々。



かに、余命があとわずかという方がいて、毎日のように「パチンコがしたい」と言っていたんですね。そこまで言うのなら行かせてあげたいと、担当医の岡田定彦医師（現理事長）に相談したところ、「それ、いいんじゃない」と盛り上がりまして、それでパチンコ店にも連絡し、誰が何を担当するなどの役割も決め、いざこのプランを病院の経営会議にかけたんです。

伊藤 どうでしたか？

三好 あっさり拒否されました。その理由というのが、「パチンコ店の駐車場に病院の車を停めるわけにはいかない」ということ。それなら自家用車で行くと、強行突破です。

伊藤 けっこうやりませぬ（笑）

三好 結論から言えば、行って良かったです。その患者さんは片マヒで手が動かないのにも関わらず、一生懸命、パチンコのハンドルを動かそうとしていました。その様子を見て、僕たちもご家族の方も、「あきらめないで良かった」と思っていました。

伊藤 看護って、そういうものですね。

三好 それをきっかけに、少しばかり間は空きましたが、「おうちP」を一つのプロジェクトとして始めたわけです。

転載 二次使用禁止

離職率3割以上という職場の問題点を洗い出す

伊藤 ホームページも見ました。「おうちP」も含め、野尻中央病院ではさまざまな試みをされています。どういう病院なのですか？

三好 当院は、人口8000人の小林市野尻地区を診療圏とする療養型の病院です。脳血管障害の後遺症による療養が多く、透析患者さんもいます。

伊藤 地域になくてはならない病院として、長年、頼られてきたわけですね。

三好 それがまったく違いました。10年ほど前までは地域からも見放されたような病院で、「あの病院に入院すると出られなくなる」という評判が立つほどでした。

岡元 当時は看護に関して手順書さえなく、すべてが医師の指示待ち。勤務表もなく、暇なら帰っていいという状況でした。

伊藤 岡元さんはここで20年ほどずっと勤めていたと伺っていますが、なぜ疑問を感じながらも、お辞めにならなかったのですか？

岡元 一緒に働く仲間、スタッフが好きたんです。

伊藤 三好さんは？

Profile

<p>統括部長 みよし 彰範さん</p> <p>1997年、国立療養所宮崎病院付属看護学校卒業後、看護師免許取得。2001年、野尻中央病院に入院。外傷や透析センターを経て、2005年に看護部長就任。2012年9月から現職。</p>	<p>看護部長 おかもと かすみ 和美さん</p> <p>1990年、野尻中央病院に入院。外傷・透析・病棟などを経て、遠信制の看護学校へ通い、看護師免許取得。2005年、副看護部長就任。2012年9月から現職。</p>
---	---

三好 正直なところ、入職1日目にして、ここには動められない、辞めようと思いましたが（笑）。当時の離職率は3割と言われていましたが、実際はもっと高かったと思います。

伊藤 三好さんは今、病院改革に携わっています。地域からもスタッフからも評判が芳しくなかった病院を変えようとしていますよね。それは何か理由があったんですか？



地域に見捨てられたような病院から  
患者さんや家族に愛される病院へ。  
改革を進める野尻中央病院の、  
これからに期待したい。



「おいたっが」とは、「我々の」という意味。

伊藤 この成果、例えば、患者さんのQOLがこれだけ上がったなど、客観的な評価はされていますか？  
三好 スタッフ一人ひとりに患者さんやご家族からのお礼を伝えるなどのフィードバックはしていますが、結果としてまとめてはいません。  
伊藤 それはもったいない。このプロジェクトは病院の大きな財産なので、何かしら結果として、学会報告をするなり、まとめた方がいいと思います。コストについてはどうなっていますか？  
三好 病院の車などの資源は使わせてもらっていますが、今のところポワン



「おいたっが」プロジェクトのメンバー。

野尻地区に魅力が広まったなら、ここに  
伊藤 どれももしろい試みですね。  
三好 まだ現実的ではありませんが、  
野尻地区に魅力が広まったなら、ここに  
田舎ブランドを味方にして  
改革はまだまだ続く

転載 一次使用禁止



伊藤集也 (いとうしゅんじ)



石田前幹事長より

暮らしたいという人も出てくる。そのときにヘルスケアや介護という分野で雇用が生み出せたらいいです。  
伊藤 それはできますよ。付加価値がつけば、田舎ブランドは一つの大きな魅力になる。例えば、今、医療のあり方の一つとして、病院から在宅へという流れになっています。「おうちP」を一つのモデルとして広く発信できれば、在宅医療との架け橋になる可能性があります。  
三好 そうです。おうちPをシステムとして構築して、その結果を発信していただきたい。応援しています。

三好 世代交代で、前理事長から現在の園田定彦理事長、園田泰三病院長に代わり、病院を変えようという機運が高まってきたことが大きいですね。入職5年目だった私に、看護部長をやってみないかと、打診がありました。  
伊藤 やる気を買われたんですね。  
三好 気合いだけはありました(笑)

伊藤 具体的に、どう改革を進めたの？  
三好 まず、ISOの取得を目指しました。外部のコンサルタントに依頼して問題を洗い出し、改善を試みました。職場改善にも力を入れました。例えば、月に1回スタッフとヒアリングをして不安や悩みを聞いたり、残業手当を付けたら、夜勤手当を改善したり... お恥ずかしい話ですが、以前はそういうことさえなかったんです。  
伊藤 待遇面の改善はスタッフの志気を高めるし、上司に相談ができる環境があれば、職場を離れずにスキルアップも出てくる。それらがよい結果につな



車の補助しなが行われた、「おうちP」



園元 やっぱ以前の病院には戻りたくないという気持ちが強かったです。  
伊藤 三好さんの行動を、園元さんやスタッフの気持ちが後押ししたということですね。  
園元 そうですね(笑)。当時、私は副看護部長で、三好さんは夜遅くまで議論しました。三好さんはこんな感じでグイグイ引張ってくれるので頼りになります。ときとして強引なところもあって、スタッフとぶつかることもありました。そのたびに間にあって、説得したり(笑)。  
伊藤 なぜそこまでして？  
園元 三好さんの行動を、園元さんやスタッフの気持ちが後押ししたということですね。

三好 おかげさまで職場の雰囲気も良くなり、離職率も下がってきました。医療、看護の質の改善にもつながったように、右肩下がりがなくなった受診者の割合も回復してきました。  
伊藤 園元さんは、三好さんがお若い2人の経営陣と一緒に改革に取り組む姿を見て、どう思われましたか？  
園元 きつとこの病院を変えてくれる、って思いました。実際、こうやって前車がうまく回り始めて、まわりも「変わるって、いいことなんだね」と言い始めています。  
伊藤 うまく改革が進んだんですね。  
三好 (園元さんに向かって) いっぱいケンカしたよね。  
園元 しましたね(笑)。当時、私は副看護部長で、三好さんは夜遅くまで議論しました。三好さんはこんな感じでグイグイ引張ってくれるので頼りになります。ときとして強引なところもあって、スタッフとぶつかることもありました。そのたびに間にあって、説得したり(笑)。  
伊藤 なぜそこまでして？  
園元 三好さんの行動を、園元さんやスタッフの気持ちが後押ししたということですね。

三好 2年後です。パチンコの一件でスタッフのやる気が高まったのですが、上からの評判がよろしくなく、結局、そのままお蔵入りになっていました。その後、経営陣が変わり、私が看護部長になったときに、あのプロジェクト復活させたいという話になりました。  
伊藤 これまでに何人の方がこのプロジェクトに参加されたのでしょうか？  
三好 は毎月1回ずつなので、30人ぐらいの方にお呼びいただきました。  
伊藤 希望すれば、誰でも参加できるのですか？  
園元 基本的に、医師の許可とご家族の同意があれば、どの患者さんでも可能です。1か月ほど前から外出するたりのリハビリを強化したり、家族やケアマネージャーから自宅の環境などについて聞き取ったりしていきます。当日は、看護師と介護士が一人ずつと、人工呼吸器を付けている場合はメディアカルエンジニア(ME)が帯同します。  
伊藤 すごくいいプロジェクトだと思います。

「おうちプロジェクト」は基本的にだれでも参加可能  
伊藤 話を「おうちP」に変えますが、パチンコの件があって、それから何年後に再開されたのですか？  
三好 2年後です。パチンコの一件でスタッフのやる気が高まったのですが、上からの評判がよろしくなく、結局、そのままお蔵入りになっていました。その後、経営陣が変わり、私が看護部長になったときに、あのプロジェクト復活させたいという話になりました。  
伊藤 これまでに何人の方がこのプロジェクトに参加されたのでしょうか？  
三好 は毎月1回ずつなので、30人ぐらいの方にお呼びいただきました。  
伊藤 希望すれば、誰でも参加できるのですか？  
園元 基本的に、医師の許可とご家族の同意があれば、どの患者さんでも可能です。1か月ほど前から外出するたりのリハビリを強化したり、家族やケアマネージャーから自宅の環境などについて聞き取ったりしていきます。当日は、看護師と介護士が一人ずつと、人工呼吸器を付けている場合はメディアカルエンジニア(ME)が帯同します。  
伊藤 すごくいいプロジェクトだと思います。